

平成27年度

紀の川市公営企業会計決算審査意見書

(水道事業会計・工業用水道事業会計)

紀の川市監査委員

28紀監査発第139003号

平成28年8月17日

紀の川市長 中村 慎司 様

紀の川市監査委員 箕輪 光芳

紀の川市監査委員 岩坪 初雄

紀の川市監査委員 村垣 正造

平成27年度紀の川市公営企業会計の決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成27年度紀の川市公営企業会計（水道事業会計・工業用水道事業会計）決算について審査を行った結果、次のとおり意見を提出する。

平成27年度紀の川市公営企業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成27年度 紀の川市水道事業会計決算
平成27年度 紀の川市工業用水道事業会計決算

2 審査の期間及び場所

平成28年8月9日(火) 紀の川市役所 本庁舎 5階 502中会議室

3 審査の手続

審査に付された決算報告書、財務諸表、決算附属書類について、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿、証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続を実施したほか、関係職員の説明を聴取するとともに、各事業の経営内容を把握するため計数の分析を行い、経済性の発揮及び公共の福祉の増進に寄与しているかどうかについて審査した。

第2 審査の結果

(水道事業会計)

審査に付された決算報告書、財務諸表、決算附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

1 事業の概要

平成28年3月末現在で、給水件数は2万2,666件、給水人口は5万8,909人となっている。年間総配水量は769万7,713^m、年間総有収水量は630万4,770^mであり、有収率は81.9%となっている。

給水件数	(件)	22,666
現在給水人口	(人)	58,909
年間総配水量	(^m)	7,697,713
給水量 (^m)	年間総有収水量	6,304,770
	1日平均	17,226
有収率	(%)	81.9

(注) 平成28年3月末現在

2 収支の状況

収益的収入の決算額は13億3,149万3,095円、収益的支出の決算額は11億5,089万6,923円で、収支は1億8,059万6,172円の収益となっている。資本的収入の決算額は6億42万3,539円で、資本的支出の決算額は10億6,729万2,056円となっており、不足する額4億6,686万8,517円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,581万2,406円、過年度分損益勘定留保資金2億9,854万3,910円及び建設改良積立金1億1,251万2,201円で補填されている。

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 水道事業収益	1,322,517,000	1,331,493,095	8,976,095
1 項 営業収益	1,163,683,000	1,173,309,093	9,626,093
2 項 営業外収益	158,832,000	158,182,335	△ 649,665
3 項 特別利益	2,000	1,667	△ 333

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	繰越額 (地方公営企業法第26条第2項)	不 用 額
1 款 水道事業費用	1,269,300,000	1,150,896,923	30,537,000	87,866,077
1 項 営業費用	1,132,043,000	1,032,722,640	30,537,000	68,783,360
2 項 営業外費用	126,756,000	117,373,486	0	9,382,514
3 項 特別損失	501,000	800,797	0	△ 299,797
4 項 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 資本的収入	637,599,000	600,423,539	△ 37,175,461
1 項 企業債	618,700,000	581,400,000	△ 37,300,000
2 項 国庫補助金	1,000	0	△ 1,000
3 項 工事負担金	1,000	0	△ 1,000
4 項 出資金	18,895,000	18,894,706	△ 294
5 項 固定資産売却代金	1,000	128,833	127,833
6 項 貸付金収入	1,000	0	△ 1,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
1 款 資本的支出	1,082,987,000	1,067,292,056	0	15,694,944
1 項 建設改良費	785,897,000	771,203,079	0	14,693,921
2 項 企業債償還金	296,089,000	296,088,977	0	23
3 項 貸付金	1,000	0	0	1,000
4 項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

3 経営成績

当年度の経営の成績は、次のとおりとなっている。

損 益 計 算 書

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
営 業 収 益	1,091,931,998	
給 水 収 益	1,015,932,807	
受 託 工 事 収 益	73,590,488	
そ の 他 営 業 収 益	2,408,703	
営 業 費 用	999,109,830	
原 水 及 び 浄 水 費	214,678,692	
配 水 及 び 給 水 費	179,012,522	
受 託 工 事 費	40,968,000	
総 係 費	148,596,497	
減 価 償 却 費	415,854,119	
資 産 減 耗 費	0	
そ の 他 営 業 費 用	0	
営 業 利 益	92,822,168	
営 業 外 収 益	154,944,210	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,518,902	
補 助 金	1,000,000	
繰 入 金	6,567,429	
加 入 金	44,521,315	
長 期 前 受 金 戻 入	94,666,411	
雑 収 益	5,670,153	
営 業 外 費 用	122,261,297	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	116,704,886	
雑 支 出	5,556,411	
経 常 利 益	125,505,081	
特 別 利 益	1,544	
過 年 度 損 益 修 正 益	0	
固 定 資 産 売 却 益	1,544	
特 別 損 失	746,936	
過 年 度 損 益 修 正 損	704,159	
固 定 資 産 売 却 損	42,777	
そ の 他 特 別 損 失	0	
当 年 度 純 利 益	124,759,689	
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	1,622,821,913	
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	112,512,201	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	1,860,093,803	

(1) 営業利益

営業収益 10 億 9,193 万 1,998 円から営業費用 9 億 9,910 万 9,830 円を控除した営業利益は、9,282 万 2,168 円となっている。

(2) 経常利益

営業利益 9,282 万 2,168 円に営業外収益 1 億 5,494 万 4,210 円を加え、営業外費用 1 億 2,226 万 1,297 円を控除した経常利益は、1 億 2,550 万 5,081 円となっている。

(3) 純利益

経常利益 1 億 2,550 万 5,081 円に特別利益 1,544 円を加え、特別損失 74 万 6,936 円を控除した当年度純利益は、1 億 2,475 万 9,689 円となっている。

この額に、前年度繰越利益剰余金 16 億 2,282 万 1,913 円とその他未処分利益剰余金変動額 1 億 1,251 万 2,201 円を加えた 18 億 6,009 万 3,803 円が当年度未処分利益剰余金となっている。

4 財政状態

当年度の財政状態は、次のとおりとなっている。

貸借対照表

(単位：円)

科 目		金 額	科 目		金 額
資産の部	固定資産	11,301,376,148	負債の部	企業債	321,089,890
	有形固定資産	11,300,517,908		建設改良費等の財源に 充てるための企業債	321,089,890
	土地	901,739,838		その他の企業債	0
	建物	594,967,665		未払金	287,227,550
	構築物	8,051,147,322		引当金	11,994,000
	機械及び装置	1,721,701,256		賞与引当金	10,195,000
	車両運搬具	537,057		法定福利費引当金	1,799,000
	工具器具・備品	7,583,770		その他流動負債	314,478
	建設仮勘定	22,841,000		繰延収益	1,875,967,456
	無形固定資産	858,240		長期前受金	3,954,626,103
	施設利用権	432,000		収益化累計額	△2,078,658,647
	電話加入権	426,240			
	流動資産	2,622,661,821		負債合計	7,942,679,091
	現金預金	2,556,427,904		資本の部	資本金
未収金	122,425,608	自己資本金	4,112,059,161		
貸倒引当金	△63,506,446	固有資本金	2,618,778,071		
貯蔵品	214,755	繰入資本金	71,765,383		
前払金	7,100,000	組入資本金	1,421,515,707		
その他流動資産	0	剰余金	1,869,299,717		
資産合計	13,924,037,969	資本剰余金	9,205,914		
負債の部	固定負債	5,446,085,717	受贈財産評価額		9,104,114
	企業債	5,446,085,717	その他資本剰余金		101,800
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,446,085,717	利益剰余金		1,860,093,803
	その他の企業債	0	減債積立金		0
	流動負債	620,625,918	利益積立金		0
	一時借入金	0	建設改良積立金		0
	一時借入金	0	当年度未処分利益剰余金		1,860,093,803
	企業債前借	0	資本合計	5,981,358,878	
		負債資本合計	13,924,037,969		

資産の総額は、139億2,403万7,969円で、その内訳は、固定資産が113億137万6,148円、流動資産が26億2,266万1,821円となっている。

負債及び資本の総額は、資産の総額と同額の139億2,403万7,969円であり、負債の総額は、79億4,267万9,091円で、その内訳は、固定負債が54億4,608万5,717円、流動負債が6億2,062万5,918円、繰延収益が18億7,596万7,456円である。資本の総額は、59億8,135万8,878円で、その内訳は、資本金が41億1,205万9,161円、剰余金が18億

6,929万9,717円となっている。

5 供給単価・給水原価

本年度における給水量1 m³当たりの供給単価と給水原価の状況は、次表のとおりとなっている。

供給単価と給水原価の状況（1 m³当たり）

（単位：円）

供給単価 (A)	161.1	給水収益／年間総有収水量
給水原価 (B)	156.4	経常費用－（受託工事費＋材料売却原価） －長期前受金戻入／年間総有収水量
差 引 (A－B)	4.7	

6 総括

以上が、平成27年度における紀の川市水道事業会計決算審査の概要である。

本年度の業務実績は、給水件数2万2,666件（対前年度24件の増）、給水人口5万8,909人（対前年度686人の減）となっており、減少理由は自然減である。また、給水状況は年間総配水量769万7,713 m³（対前年度11万4,063 m³の減）、年間総有収水量は、630万4,770 m³（対前年度4万7,645 m³の減）、有収率は、81.9%（対前年度0.6ポイントの増）となっている。

経営成績は、総収益12億4,687万7,752円に対して総費用11億2,211万8,063円となっており、純利益1億2,475万9,689円の黒字決算となった。これに前年度からの繰越利益剰余金16億2,282万1,913円、その他未処分利益剰余金変動額1億1,251万2,201円が加算され、当年度未処分利益剰余金は18億6,009万3,803円となっている。なお、資本的収入額の資本的支出額に対する不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填している。

本年度決算において、平成26年度と比較すると、水道事業の主たる収益である給水収益については607万8,107円の減収となっていたが、歳出における受託工事費及び特別損失の減少により、黒字決算となっている。今後、人口の減少による給水収益の減収や水道施設の大量更新時期による修繕費の増加傾向が続いているため、依然経営状況は厳しいことが見込まれる。このため、早期に中長期的な経営計画を策定し、健全な財政運営のもと安定した経営を望む。

(工業用水道事業会計)

審査に付された決算報告書、財務諸表、決算附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

1 事業の概要

平成28年3月末現在で、給水件数が8件、契約水量が1,326 m³/日、年間総配水量は44万7,955 m³、年間総有収水量(計量分)は41万9,382 m³であり、有収率は93.6%となっている。

給水件数	(件)	8
契約水量	(m ³ /日)	1,326
年間総配水量	(m ³)	447,955
給水量(m ³)	年間総有収水量	419,382
	1日平均	1,146
有収率	(%)	93.6

(注) 平成28年3月末現在

2 収支の状況

収益的収入の決算額は4,465万8,165円で収益的支出の決算額は3,555万7,686円、収支は910万479円の利益となっている。資本的収入の決算額は0円、資本的支出の決算額は1,665万5,031円となっており、不足する額1,665万5,031円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額349万9,362円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額28万6,800円、過年度分損益勘定留保資金10万3,338円及び減債積立金1,276万5,531円で補填されている。

(1) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分	予算額	決算額	予算額に比べ決算額の増減
1款 工業用水道事業収益	44,575,000	44,658,165	83,165
1項 営業収益	42,601,000	42,599,510	△1,490
2項 営業外収益	1,974,000	2,058,655	84,655

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	繰越額 (地方公営企業法第26条第2項)	不用額
1款 工業用水道事業費用	40,631,000	35,557,686	0	5,073,314
1項 営業費用	31,740,000	27,938,363	0	3,801,637
2項 営業外費用	7,891,000	7,619,323	0	271,677
3項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 資本的収入	1,000	0	△ 1,000
1 項 工事負担金	1,000	0	△ 1,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
1 款 資本的支出	17,878,000	16,655,031	0	1,222,969
1 項 建設改良費	4,112,000	3,889,500	0	222,500
2 項 企業債償還金	12,766,000	12,765,531	0	469
3 項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

3 経営成績

当年度の経営の成績は、次のとおりとなっている。

損 益 計 算 書

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
営 業 収 益	39,443,996	
給 水 収 益	39,443,996	
受 託 工 事 収 益	0	
そ の 他 営 業 収 益	0	
営 業 費 用	27,414,851	
原 水 及 び 浄 水 費	6,087,056	
配 水 及 び 給 水 費	235,260	
受 託 工 事 費	0	
総 係 費	7,860,321	
減 価 償 却 費	13,232,214	
資 産 減 耗 費	0	
そ の 他 営 業 費 用	0	
営 業 利 益	12,029,145	
営 業 外 収 益	3,454,041	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	87,705	
長 期 前 受 金 戻 入	1,887,790	
雑 収 益	1,478,546	
営 業 外 費 用	6,670,923	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	6,593,923	
雑 支 出	77,000	
経 常 利 益	8,812,263	
特 別 利 益	0	
過 年 度 損 益 修 正 益	0	
固 定 資 産 売 却 益	0	
特 別 損 失	0	
過 年 度 損 益 修 正 損	0	
固 定 資 産 売 却 損	0	
そ の 他 特 別 損 失	0	
当 年 度 純 利 益	8,812,263	
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	17,238,525	
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	12,765,531	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	38,816,319	

(1) 営業利益

営業収益 3,944 万 3,996 円から営業費用 2,741 万 4,851 円を控除した営業利益は、1,202 万 9,145 円となっている。

(2) 経常利益

営業利益 1,202 万 9,145 円に営業外収益 345 万 4,041 円を加え、営業外費用 667 万 923 円を控除した経常利益は、881 万 2,263 円となっている。

(3) 純利益

当年度純利益は、経常利益と同額の 881 万 2,263 円となっている。

この額に、前年度繰越利益剰余金 1,723 万 8,525 円とその他未処分利益剰余金変動額 1,276 万 5,531 円を加えた 3,881 万 6,319 円が当年度未処分利益剰余金となっている。

4 財政状態

当年度の財政状態は、次のとおりとなっている。

貸借対照表

(単位：円)

科 目		金 額	科 目		金 額	
資 産 の 部	固 定 資 産	403,987,769	負 債 の 部	未 払 金	673,561	
	有 形 固 定 資 産	403,987,769		引 当 金	518,000	
	土 地	7,086,380		賞 与 引 当 金	440,000	
	建 物	40,561,249		法定福利費引当金	78,000	
	構 築 物	292,938,149		そ の 他 流 動 負 債	0	
	機 械 及 び 装 置	63,401,991		繰 延 収 益	55,810,597	
	車 両 運 搬 具	0		長 期 前 受 金	67,916,052	
	工 具 器 具 ・ 備 品	0		収 益 化 累 計 額	△ 12,105,455	
	建 設 仮 勘 定	0		負 債 合 計	405,842,907	
	無 形 固 定 資 産	0		資 本 の 部	資 本 金	70,562,963
	施 設 利 用 権	0			自 己 資 本 金	70,562,963
	電 話 加 入 権	0			固 有 資 本 金	2,210,081
	流 動 資 産	124,665,607			繰 入 資 本 金	24,118,500
	現 金 預 金	124,204,957			組 入 資 本 金	44,234,382
	未 収 金	460,650			剰 余 金	52,247,506
貸 倒 引 当 金	0	資 本 剰 余 金	2,431,100			
貯 蔵 品	0	受 贈 財 産 評 価 額	2,431,100			
前 払 金	0	そ の 他 資 本 剰 余 金	0			
そ の 他 流 動 資 産	0	利 益 剰 余 金	49,816,406			
資 産 合 計	528,653,376	減 債 積 立 金	11,000,087			
負 債 の 部	固 定 負 債	327,126,315	利 益 積 立 金		0	
	企 業 債	327,126,315	建 設 改 良 積 立 金		0	
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	327,126,315	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		38,816,319	
	そ の 他 の 企 業 債	0	資 本 合 計		122,810,469	
	流 動 負 債	22,905,995	負 債 資 本 合 計	528,653,376		
	一 時 借 入 金	0				
	企 業 債	21,714,434				
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	21,714,434				
	そ の 他 の 企 業 債	0				

資産の総額は、5億2,865万3,376円で、その内訳は、固定資産が4億398万7,769円、流動資産が1億2,466万5,607円となっている。

負債及び資本の総額は、資産の総額と同額の5億2,865万3,376円であり、負債の総額

は、4億584万2,907円で、その内訳は、固定負債が3億2,712万6,315円、流動負債が2,290万5,995円、繰延収益が5,581万597円である。資本の総額は、1億2,281万469円で、その内訳は、資本金が7,056万2,963円、剰余金が5,224万7,506円となっている。

5 供給単価・給水原価

本年度における給水量1m³当たりの供給単価と給水原価の状況は、次表のとおりとなっている。

供給単価と給水原価の状況（1m³当たり）

（単位：円）

供給単価 (A)	76.9	給水収益／年間総有収水量（料金算定分）
給水原価 (B)	62.6	経常費用－（受託工事費＋材料売却原価） －長期前受金戻入／年間総有収水量（料金算定分）
差 引 (A－B)	14.3	

6 総括

以上が、平成27年度における紀の川市工業用水道事業会計決算審査の概要である。

本年度の業務実績は、給水件数8件（前年度より1件増）、年間総配水量44万7,955m³（対前年度9,213m³の減）、年間総有収水量（計量分）41万9,382m³（対前年度1万136m³の減）であり、有収率は93.6%（対前年度0.4ポイントの減）となっている。

経営成績は、総収益4,289万8,037円に対して総費用3,408万5,774円となっており、当年度純利益881万2,263円の黒字決算となった。これに前年度繰越利益剰余金1,723万8,525円、その他未処分利益剰余金変動額1,276万5,531円を加えた当年度未処分利益剰余金は3,881万6,319円となっている。なお、資本的収入額の資本的支出額に対する不足額は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補填している。

本年度決算においては、営業収益が減少したが、営業費用においても減少があったことにより、黒字を確保することができている。

今後も引き続き需要先の新規開拓や契約水量増加の推進と経営の更なる効率化を図ることにより、工業用水道事業の健全かつ安定した経営を望む。